

所属属性	印象に残った「キーワード」	ご感想やご意見
当事者・ご家族	医療、福祉の連携。	専門的な話で難しかったのですが、これから、子どもの行動を記録していきたいと思います。
福祉サービス支援者	環境(状況)と特性、多職種連携	勉強会に参加でき、気付きや深掘りに繋がり、大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。
福祉サービス支援者	福祉と医療の連携、	先生のおかげさまで、所属先上司等からの理解が得られなくても当事者主体の考え方を進めて行く信念が確信に変わりました
当事者・ご家族	医療と福祉の連携の重要性。	地域で暮らしていける人として(強度行動障がいの人)、医療側(医師が中心)も隔離だけに終わらず、トレーニングを受けた人財として福祉の力に委ねて、ディスカッションし、他職種(看護師、心理療法士、作業療法士、保育士、精神保健福祉士、社会福祉士)との連携が、この分野においても、重要である事を実感致しました。
福祉サービス支援者	福祉と医療の連携	精神医療センターでの取り組みについて学ぶことができました。ありがとうございました。
地域・一般	連携	医師のお話を聞くことが初めてだったので、違う視点から見る事ができたように思います。
当事者・ご家族、相談支援関係、教育関係、行政関係	行動の特性と環境のマッチング	とてもわかりやすく、納得の話ばかりで、あっという間でした。もっとゆっくりと学べる機会があれば嬉しいです。
福祉サービス外支援者	地域移行	ステキな内容でした、次回は地域移行の話しが聴きたいです。
福祉サービス支援者	強度行動障害の今後	医療そして福祉関係又地域がどのように関わっていき連携発展させていけるのか大きな課題でありずっと言われていることであり未だ未だ進まないのが、現実かなあーと思います。
相談支援関係	「福祉の人の言うことを聞こう」、「最適の量の薬物服用」	難しいと思われる障害にも、工夫次第でやりようがあるのだなと思いました。ZOOM参加の運営ありがとうございました。ご配慮いただき助かりました。
福祉サービス支援者	特性から自傷他害といった強度行動障害を呈する時もあるけれど、それ以外の時は普通の生活をしていて、魅力的な部分も沢山ある、みたいな話を講義のイントロあたりで仰っていました。今の私は、目の前のこの方の事態をどうにかしなくちゃと当たり前のことでも忘れがちです。	自分自身はサビ管からの情報のみで仕事をする立場であり、日頃保護者の方や他事業所・機関の皆さんと接点がありません。これで良いのかなと思いつつ何となく一日終えて、帰宅しています。今日は、応用行動療法など療育や治療の手法、医療機関⇄ご家庭・入居施設への移行時の連携のための会議や情報交換の工夫など現場の改善努力、入院中から導入できる福祉サービスの話など伺い、本人さん・保護者さんにとって大事なことを私は殆ど知らないまま働いているということを感じ取り受け止めました。
当事者・ご家族	非薬物療法、余暇活動の充足、福祉・医療の連携	今回は、ありがとうございました！！ 會田先生のお人柄(重度の方の本当の姿を見極め寄り添う姿勢)が感じ取れ、ス〜ッと話が入ってきました。先生のように、困っている方の支援をやりたいけど、 どうしたらいいのか・・・と考えてある地域の方は(医療・福祉分野にとどまらず)きっとたくさんいらっしゃると思うので、その掘り起し&集約ができれば、もっと暮らしやすくなるのだろうな、と思います。(しょうがいのあるなしに関わらず)お互いの特性(できればよい面をたくさん)認めあう中で、共に暮らすための解決方法を見出していくことができたなら、みんなの力を出しあえてお互い活気づくだろうな、と考えさせられました。
行政関係	一事業所と一病院の関係	医療ときくと、どうしても距離がある感じがしていましたが、1人の人を支えるために共に意見交換しながら歩み寄れたらいいなと思えました
福祉サービス支援者	医療、福祉双方がお互を知る 非薬物	途中で途切れてしまいましたが、色々な工夫で最後まで視聴できました。

当事者・ご家族、福祉サービス外支援者	強度行動障害医療と福祉の連携	強度行動障害の日常での問題は病院の懇談会等でお聞きしていますが、今回の公演では強度行動障害についての全国の状況および医療の現状や今後について詳細に聞いて大変有意義でした。強度行動障害が一般的に認知され地域差なく医療、福祉面で理解される事を願っています。
福祉サービス支援者	すみません。少ししか見れずキーワードとなる言葉まで辿り着きませんでした。	すみません。急遽別件が入り少ししか見ることができませんでした。
福祉サービス支援者	早期発見、早期治療、他職種連携	学生の私には少し難しかったです。もっと勉強してきます。
福祉サービス支援者	連携	幼児期の子どもたちのを支援をしています。活動（遊び）の幅を広げる機会をもつこと、見通し、安心感をもって生活する環境を整えること、なんらかの伝える手段をもつこと、わたしにできることを考えさせられました。
医療関係	保護者も傷ついている	なかなかこの領域に熱心な医師の話聞くことは少ないので勇気づけられました。先生がどうしてこの領域に関わるようになったか興味があります。
当事者・ご家族、相談支援関係	最初の一時間程で退出してしまいました 	肥前は重度さんのレスパイト入院が可能だという事に羨ましく思いました。担当してる方のかかりつけ精神科病院は閉鎖病棟もありますが、受け入れ不可との事です。施設でショートステイは今はコロナの事や施設の慢性的な人員不足で、利用ができません。家族のぎりぎりな状況を見ると、申し訳ない気持ちです。
医療関係	特になし	途中音声途切れました。
福祉サービス支援者	A BC分析という言葉をはじめて知りました	強度行動障害の利用者さんを通院させると、まるで借りてきた猫のようにおとなしく、普段はこんなじゃないんですよ、という先生のお話に共感しました。もっと強度行動障害の利用者さんを理解していきたいと切に思います。研修会の間、ずっと職場の利用者さんの顔が思い出され早く会いたいと思いました。
当事者・ご家族	冰山モデルと応用行動分析、福祉と医療の連携、	25歳ダウン症男性の母です。20歳を過ぎて行動障害が酷くなり、原因も対処法も分からず追い詰められて情報を求めました。限られた診療時間では理解に至らず、同じ障がいの地元の親の会では事例が殆ど無く、先輩の親から育て方や対応に問題があると非難され心が折れました。一時は私たち家族には未来がないと思いつめておりましたが、今は薬と行動療法で息子は落ち着きを取り戻しつつあります。今回の會田先生のお話を伺い、強度行動障害の治療と支援の全体像が掴めて目の前が明るくなったと思います。粘り強くABC行動分析を積み上げ、通所先の職員と連携して、行動障害のきっかけを探る毎日です。會田先生のような方が東京にもいらっしたらどんなに嬉しいことでしょう。本日は、大変貴重なお話を誠にありがとうございました。
福祉サービス支援者	あらためて動画を見させて頂きます。	ありがとうございました
福祉サービス支援者	応用行動分析・困っているのは本人・地域連携・社会の理解	他の参加者の音声等や、途中で映像も音声も途切れてしまったりして自分自身の集中が続かなかった事が残念でした。途中退出してしまい申し訳ありませんでした。
当事者・ご家族、福祉サービス支援者	資料P39「問題が悪化してから頼まれる」「早くから医療もチームに入れて欲しい」	●資料P17精神科入院治療でできることで「行動療法や構造化による介入」は「難しい」とされていることに違和感を覚えました。行動療法は病院で受けられるイメージを持っていたので、福祉に押し付けている…？と感じてしまいました。
地域・一般	行動障害と医療的アプローチは今が転換点 非薬物療法 まずお薬ではなく	強度行動障害に対する医療的アプローチの過去から現在、どのように進化しているかを理解することができました。説明もわかりやすく、一般参加者の私のようなものにも理解しやすかったです。

当事者・ご家族	医療の現状 医療と福祉の 関係 専門性 治療薬	昨年三女が入院した時に感じたことがありますが、強度行動障がいの方の症状を治療し慣れている医療従事者と、そうでない医療従事者の差。三女が入院した時に、たっぷりと普段の事を聞かれたことを思い出しました。生まれた時～の話、(ニックネームに始まり、良くやっていること、嫌うこと、好きなこと...)なかなか会えない親には、時々担当看護師さんから保護室内での様子を電話連絡してくださいました。週1くらいしか会えない親にとって、心の支えになりました。zoom参加者の方の書き込みに、同じ自閉症で重度の知的障がいでも強度行動障がいになる方とらない方がいるのは、幼いころの関わりあいなのかと言うようなものがありました。そんなことないよね、と心の中で否定しつつも親として、考えてしまいました。海外では、強度行動障がいの方に対してどのようにしているのかと私も思いました。また色んなことを知りたいと思いました。
医療関係	医師への知識の普及	途中で切れてしまって、講師の話がよく聞こえないところがありました。少々残念でした。
福祉サービス支援者	地域への移行	今回初めて強度行動障害についての講演を受けました。恥ずかしながら、この障害を持たれた方は病院に隔離、拘束されてばかりいるイメージを持っていました。先生の講演を拝聴して、地域への移行、いろんな職種の方が関わっていけば地域へ戻っていけるんだと思えるようになりました。貴重なお話、ありがとうございました。
福祉サービス支援者	応用行動分析・困っているのは本人・地域連携・社会の理解	他の参加者の音声等や、途中で映像も音声も途切れてしまったりして自身の集中が続かなかった事が残念でした。途中退出してしまい申し訳ありませんでした。
福祉サービス支援者	保護者は傷ついている 行動障害を呈していない時間	医療の現場からのお話を聞くことができ、とても貴重な時間でした。 行動や情緒に関する評価が行われ、福祉の現場でも正しく理解して支援できる事、他機関と連携する際に役立つ客観的な記録を残す事が必要だと再認識しました。
福祉サービス支援者, 相談支援関係	医療的アプローチ (減薬の方向に向かっていると感じた) / 潜在的な要支援者の数値	途中退室して申しわけなく思ってます